

2020年10月14日 第345号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 署名宣伝行動

女性蔑視、LGBT…暴言は許しません!杉田議員は辞職せよ!

菅首相は学問の自由を守れ! 任命拒否を撤回せよ!

「杉田議員は辞職せよ」「菅首相は学問の自由を守れ!任命拒否を撤回せよ!」—総がかり行動実行委員会は10月13日夜、新宿駅西口で改憲発議に反対する署名の宣伝行動を行い52人が参加し、署名は55人分が集まりました。女性蔑視やLGBTへの暴言を繰り返す自民党の杉田水脈議員や菅首相の日本学術会議会員の任命拒否問題に抗議の声をあげました。訴えを聞いていた方がわざわざ、署名テーブルのところにカンパを届けてくれました。社民党の福島瑞穂参議院議員も参加し、訴えました。

憲法共同センターからは全日本民医連の木下興事務局次長、全労連の川村好伸副議長が訴えました。木下さんは「政府の対応が遅れながら、医療崩壊につながる感染爆発を起こしていないのは、コロナ感染の前線で働く医療・介護労働者の奮闘や、3密を避けた日常生活をおくる市民の努力に依拠するところが大きい」と指摘。「コロナ禍でも誰一人取り残してはならない、そのためにも今の政治、税金の使い方を大きく変えてほしい、それが私たち医療介護で働く者の一番の願いです」と訴えました。

川村さんは、「菅首相が就任し1カ月がたったが、日本学術会議の会員任命拒否など本性を現している。総合的・俯瞰的な判断と言っているが、一方で名簿は見えていないと言う。科学者が戦争に協力してきた反省のもと、憲法23条の学問の自由が定められた。6人をただちに任命すべし。自公政権を変えないといけない。市民と野党の共闘で野党連合政権を。そのことが、憲法改悪を阻止し、暮らしを守る政治に変えることになる」と呼びかけました。



*当面の行動

- 10月19日(月) 総がかり行動実行委員会「19日行動」18時30分～ 国会議員会館前
- 10月26日(月) 総がかり行動実行委員会 臨時国会開会日行動 12時～ 国会議員会館前
- 11月3日(火) 「平和といのちと人権を!11・3大行動—憲法が生きるコロナ後の社会」
13時30分～ 国会正門前 **憲法共同センターは南庭前**
- 11月9日(月) 憲法共同センター「9の日」宣伝 12時～ 新宿駅西口
- 11月19日(木) 総がかり行動実行委員会「19日行動」18時30分～ 国会議員会館前

*各地での「9の日」宣伝、「19日行動」、学習会などの取り組みのニュースを送ってください。ニュースでご紹介させていただきます。